



# 東京経済大学ニュース

## Vol.13

東京経済大学 Web サイト: <http://www.tku.ac.jp/>

### Contents

#### 特集 1

～ゼミする東経大～ 学生たちの活躍

「第14回 日銀グランプリ ～キャンパスからの提言～」

石川雅也ゼミのチームが最優秀賞を受賞！！

#### 特集 2

キャリアデザインプログラム 2年目を迎えて

プログラム1期生に聞く、入学から現在までの成長

#### 東経大インフォメーション

Information 1 鈴木優斗選手が箱根駅伝関東学生連合に選出！

チーム全体でも27位と昨年を上回る好成績

Information 2 地域活性化シンポジウム「東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域」

国分寺キャンパス 大倉喜八郎 進一層館で12月18日(火)に開催

Information 3 百葵繚乱。第119回大学祭「葵祭(あおいさい)」開催

学生たちが企画したミニイベントも好評

Information 4 「ゼミ研究報告会」で教育の成果を発表

11月17日(土)、12月5日(水)、12月8日(土)の3日間、国分寺キャンパスで開催

Information 5 シンポジウム「AI時代を生き抜くキャリアデザイン」開催

学生団体が企画運営。新しい働き方について実践報告

Information 6 経営学部 小木ゼミが「TABLE FOR TWO プログラム」の試食会を実施

ゼミ生考案のメニュー2品を生協で期間限定販売

## 特集 1

～ゼミする東経大～ 学生たちの活躍

### 「第 14 回 日銀グランプリ ～キャンパスからの提言～」

#### 石川雅也ゼミのチームが最優秀賞を受賞！！

東京経済大学経済学部・石川雅也ゼミのチームが、日本銀行主催の学生向けコンテスト「第 14 回 日銀グランプリ ～キャンパスからの提言～」において、最優秀賞を受賞しました。



大会当日の様子(最優秀賞受賞チーム)

#### 2 年連続で上位 5 チームに入り決勝へ！

「日銀グランプリ」は、学生が金融・経済に関心を持ち、日本の金融・経済の現状と将来について自分たちの問題として考えるきっかけとなるよう、日本銀行が 2005 年度から開催している小論文・プレゼンテーションのコンテストです。14 回目となる今回は全国 52 大学から 147 編の応募があり、大学数・応募論文数とも過去最多を記録しました。

今回の課題は「わが国の金融・経済への提言」。予選では大学生 2～4 名で構成されるグループが制作した小論文の審査が行われます。石川ゼミのチームは、昨年に続き上位 5 チームに選出され、見事、最優秀賞を受賞しました。また、惜しくも決勝進出には至らなかったものの、奨励賞 5 チームの一つに選ばれたチームもありました。

#### 最優秀賞を受賞したチーム

メンバー
安部一壽也(経済学部 3 年)／笠倉一樹(経済学部 2 年)／樋口拓郎(経営学部 4 年)／深澤広大(経営学部 2 年)
小論文のタイトル
「所得控除連動型消費税免税マイナス金利デビットカード(免税カード)のすすめ」

**安部一壽也さんのコメント(決勝進出チームのリーダー・経済学部3年)**

「レポートのテーマは、所得控除に連動して消費税を免税し、マイナス金利と組み合わせることで消費を活性化していくというものです。金融は難しいイメージがありますが、金融を消費者にとってより身近なものにするにはどう伝えていけばいいかを考えるきっかけとなりました。

現実の経済に自分たちの提案を当てはめるとなると、消費者の実感につながるアプローチをするため、知らなければならないことが数多くあります。全く知らなかった所得税の仕組みを一から調べるなど、補完しなければいけない部分もたくさんありましたが、『なぜこのテーマに興味を持ったか』『何が学ぶきっかけになったか』という原点に立ち返り、自分たちが感じ理解したことを、消費者にわかりやすく伝えるよう心がけました。

このゼミは勉強するだけでなく、実際の経済にどのような影響を与えるかを常に考えて取り組むゼミです。石川先生は、教えてくれるのではなく、自分たちの考えを引き出してくれます。一人一人の考えが活かされて、自分の考えを言葉にできる力が身につくゼミだと感じています」



安部一壽也さん

**石川雅也准教授のコメント**

「レポートを書くことは学生ならば普通のことですが、それでコンテストに応募するという事は、自分たちが作り上げたアウトプットを専門家に評価してもらうことになります。そこで学生たちが強烈に意識し実感するのが、『相手に伝わるもの』をアウトプットする重要性です。

また、新しいアイデアを提案するコンテストは、『論理力+発想力』が求められます。発想力の部分においては、偏差値はあまり関係なく、好奇心の強いほうが勝っています。新しいことを考え提案するという知的な競争で、偏差値の高い大学の学生にも十分勝てるという成功体験によって、学生は力がつくとともに自信もつきます」



石川雅也准教授

**奨励賞を受賞したチーム**

<b>メンバー</b>
木村晃佑(経済学部3年)、舘野栞(経済学部2年)／世坂駿(経済学部2年)
<b>小論文のタイトル</b>
「介護施設のアモーレ ～KAIGO 銀座商店街～」

## 特集 2

# キャリアデザインプログラム 2年目を迎えて

## プログラム 1期生に聞く、入学から現在までの成長



2017年に開設。今年で2年目を迎えたキャリアデザインプログラムは、4年間を通して行われる段階的かつ徹底的なキャリア教育を強みとし、経済、経営、コミュニケーション、法の4つの基礎を学び自分に最適な学部を選択し、2年次から学部にも所属する制度を取り入れています。

また、2年次以降は自分の興味関心に基づいて、「金融」「広告」「環境」「福祉」「情報」「グローバルビジネス」の6つのテーマに分類された科目を、学部を横断して受講することもできます。学部横断的に学ぶことで、自分自身の目指すキャリアや目標にあった深い学びを実現することができます。

キャリアデザインプログラム1期生として入学し、コミュニケーション学部に進級した角智優さん（2年）に、入学から現在までの成長について話を聞きました。

### 『この分野に興味がある』『これならできそう』を必ず発見できる』

#### ——キャリアデザインプログラムに入学しようと思った理由は？

高校では情報経営系のクラスに所属していたので、何となく「情報学」や「経営学」といった分野は意識していましたが、高校3年生の秋まで、やりたいことが決められませんでした。「決められない」と言うと消極的なイメージですが、やりたいことや興味のあることが多すぎて「絞り込めない」と言ったほうが適切かもしれません。本当にやりたいことは何なのか迷っていたときに、キャリアデザインプログラムを知りました。1年次に各学部の入門科目を受けてから学部を選択できることは、私にとってとても魅力的だったので、受験することを決めました。



角智優さん

#### ——学部選択について教えてください。

コミュニケーション学部を選択しました。1年次の入門科目で社会調査について学び、「私のやりたいことはこの学部でかなえられる」と直感しました。

1年次には2回の事前調査があり、初回からコミュニケーション学部を第1希望にしていました。現在はゼミにも所属し、興味ある分野への探求を深めています。1年次に全学部の入門科目を受け、現代法学部の印象が変わり驚きました。大学入学まで法律に対して興味がなく、自分に関係のない世界だと思っていましたが、現代法学部の入門科目を受講し、身近で起きていることが題材になっていることを知り興味が湧きました。今はコミュニケーション学部にも所属していますが、現代法学部の授業も「学部横断科目」として履修することができるので、法律の知識も増やしていきたいと考えています。



**——この1年半でどのような力が身に付き、どのように成長したと思いますか？**

キャリアデザインプログラムの1年次に開講される「キャリアデザイン・ワークショップ」(履修必修)では、1年間を通して徹底的にグループワークに取り組みました。

日々のグループワークで意見を言うことの大切さと、それ以上に相手の意見を聞くことの大切さを学びました。高校生までは一方的に自分の意見を押し通してしまうこともありましたが、グループワークを通して、自分の意見と相手の意見をすり合わせながら目標に向かって物事を進めていくスキルが身に付いたと思います。

**——キャリアデザインプログラム1期生として入学したことについて、良かった点と課題と思った点を教えてください。**

1期生として入学したので、何にも影響されず、新しいことにどんどん挑戦できたことはとても良かったと思います。既存の枠にとらわれず、自分たちの興味のあることは何でもやらせてもらいました。

課題と思った点は、先輩がいなかったことで、学部選択や就職などに関する情報の情報源や相談相手が少なかったことです。特に就職に関しては、「自分でアンテナを張って情報収集する」という積極性がつきたくらいです。現1年生(キャリアデザインプログラム2期生)は、ちょうど学部選択について迷っている時期なので、相談されたら悩みを聞きアドバイスをしています。年度を重ねるごとに、先輩から後輩へのアドバイスやサポートも体系化されていくといいなと思っています。

**——受験生に向けて、キャリアデザインプログラムのオススメポイントを教えてください。**

1年次に4学部の入門科目を学べることは、とても貴重です。誰もが「この分野に興味がある」「これならできそう」を必ず発見できると思います。また、1年次からキャリアについて学ぶことで早い段階から自己分析できるようになり、自分を見つめ直すことで、早い時期から悩んだり考えたりすることができ、対策も早めに対応できています。就職活動の開始と同時に自己分析から始めると焦ってしまいそうですが、将来のキャリアについて1年次からじっくりと学ぶことで、余裕を持って就職活動を始められると思います。

**東京経済大学 キャリアデザインプログラム 入試についての情報**

センター利用入試前期	
出願期間	[郵送受付] 2019年1月4日(金)～1月18日(金) 締切日消印有効
試験日	大学入試センターが指定する試験日
試験場	大学入試センターが指定する試験場
合格発表日	2019年2月11日(月・祝)
入学手続期間	[第一次手続]2月12日(火)～2月15日(金) / [第二次手続]3月1日(金)～3月7日(木)

一般入試前期	
出願期間	[郵送受付] 2019年1月4日(金)～1月28日(月) 締切日消印有効
試験日	2019年2月10日(日)
試験場	本学
合格発表日	2月20日(水)
入学手続期間	[第一次手続]2月21日(木)～2月27日(水) / [第二次手続]3月1日(金)～3月7日(木)

## 東経大インフォメーション

### Information 1

#### 鈴木優斗選手が箱根駅伝関東学生連合に選出！

#### チーム全体でも 27 位と昨年を上回る好成績

2018 年 10 月 13 日（土）、第 95 回箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走）の予選会が行われました。陸上自衛隊立川駐屯地をスタートして立川市内を抜け、ゴールがある国営昭和記念公園を目指す 21.097 キロのコースで、東京経済大学陸上競技部駅伝チームは 11 時間 16 分 56 秒を記録。順位は 27 位と、昨年の成績を上回りました。

チームトップとなる 1 時間 05 分 20 秒の記録をたたき出した鈴木優斗選手（コミュニケーション学部 3 年）は、関東学生連合チームに選出（14 番目のタイム）されました。本学陸上競技部選手の関東学生連合選出は、第 92 回大会で 6 区を走った吉村匠さん（平成 27 年・経営学部卒業）以来、3 年ぶりとなります。



鈴木優斗選手

#### 鈴木優斗選手のコメント

「4 月に池谷寛之駅伝監督が就任され、長い距離をしっかりと走り切る練習をじっくり積み上げていくことができました。また、夏合宿では 30 キロ走などでスタミナ強化に努め、私自身、そしてチーム全体も力がついてきたことを実感できました。いつも温かい応援をいただいている支援者の皆さま、チームのメンバー、監督はじめ指導スタッフの皆さまへの感謝の気持ちを胸に、熱い走りで恩返しをしたいと思っています。応援よろしくお願いたします」

### Information 2

#### 地域活性化シンポジウム「東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域」

#### 国分寺キャンパス 大倉喜八郎 進一層館で 12 月 18 日（火）に開催

東京経済大学と多摩信用金庫は、地域中小企業の課題解決や地域発展のための相互協力を目的とし、連携協定を締結して例年、共同シンポジウムを開催しています。第 6 回となる今回は、東京都の中小企業振興ビジョンについて議論します。

2019 年 1 月に公開が予定されている東京都の中小企業振興ビジョンは、今後 10 年間の施策の方向性を提示しており、多摩地域に関する記述も多く見られます。そのため、多摩地域の自治体や金融機関、支援機関が中小企業振興策を企画・立案するほか、多摩地域の企業が経営の方向性を考えるため、本ビジョンの趣旨・内容を理解し、議論することには大きな意義があるといえます。

そこで、東京都とビジョンの策定に関わった有識者（「東京の中小企業振興を考える有識者会議」委員）、多摩地域の企業経営者により、「東京都の中小企業振興ビジョンとは何か」、「多摩地域として、東京都の中小企業振興ビジョンをどのように捉えるか」について議論を行います。



「東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域」概要	
日 時	2018年12月18日(火) 13:00~16:30(受付開始 12:30)
会 場	東京経済大学 国分寺キャンパス 大倉喜八郎 進一層館 (国分寺市南町 1-7-34) (国分寺駅南口より徒歩約 12 分)※駐車場はございません。公共機関をご利用ください。
参加費	無料
定員/対象者	300人(先着順)/企業関係者、自治体、産業支援機関の方など
申込フォーム	<a href="http://www.tamashin.jp/02_business/03_seityo/06_seminar/symposium_tku.html">http://www.tamashin.jp/02_business/03_seityo/06_seminar/symposium_tku.html</a>
申込締切	12月17日(月)17:00 ※定員に達し次第締切
問い合わせ	東京経済大学 地域連携センター TEL:042-328-7950 (平日 9:00~17:00)
主 催	東京経済大学、多摩信用金庫
後 援	東京都(予定)、東京都商工会連合会

### シンポジウム当日の流れ

- 大学挨拶 ・東京経済大学 岡本英男学長
  - 来賓ご挨拶 ・東京都知事 小池百合子氏(予定)
  - 企画趣旨説明 ・東京経済大学 経営学部 山本聡准教授
  - 東京都の中小企業振興ビジョンと多摩地域への期待(仮)
    - ・東京都 産業労働局 商工部長 坂本雅彦氏
  - 東京都の中小企業振興ビジョンの背景と問題意識
    - ・東京都商工会連合会 会長 村越政雄氏(有識者会議 委員)
    - ・株式会社浜野製作所 代表取締役社長 浜野慶一氏(有識者会議 委員)
    - ・東京経済大学 経営学部 山本聡准教授(有識者会議 委員)
  - 東京都の中小企業振興ビジョンを踏まえた多摩地域の産業振興について
    - ・株式会社コスモ計器 代表取締役社長 古瀬智之氏
    - ・多摩信用金庫 八木敏郎理事長
  - ディスカッション
  - まとめ ・早稲田大学 商学学術院(商学部)教授 鶴飼信一氏(有識者会議 座長)
- 【司会進行:東京経済大学 経営学部 山本聡准教授】

## Information 3

### 百葵繚乱。第119回大学祭「葵祭(あおいさい)」開催

#### 学生たちが企画したミニイベントも好評

2018年11月2日(金)~4日(日)の3日間、東京経済大学の大学祭「葵祭(あおいさい)」を国分寺キャンパスで開催し、多くの来場者にお立ち寄りいただき盛況のうちに終了しました。

期間中、学内には学生団体などによる37の模擬店が出店し、たこ焼きや豚丼などが販売されたほか、1・2号館の教室にはゼミやサークルによる展示コーナーが設けられ、ポスターや作品を日頃の活動成果として披露。模擬店や展示会場で配布されるシールやスタンプを集めると豪華景品が当たる抽選会なども企画し、本学学生のみならず、近隣の地域からお越しいただいた親子連れなど多くの方々にお楽しみいただくことができました。



## Information 4

### 「ゼミ研究報告会」で教育の成果を発表

11月17日(土)、12月5日(水)、12月8日(土)の3日間、国分寺キャンパスで開催

東京経済大学では、社会に出て活躍する力を身に付けるためゼミ教育に力を入れており、この取り組みの内容や成果をご覧いただく機会として、11月17日(土)、12月5日(水)、12月8日(土)の3日間、本学国分寺キャンパスで「ゼミ研究報告会」を開催しています。

高校生や高校の先生方を対象に公開しており、本学における教育の成果をご覧いただくほか、高校生の皆さんには大学での学びを理解して、進路選択の参考にしていただく機会としています。

日 時	実施学部等	会 場
<b>終了</b> 11月17日(土)15:00~17:30	コミュニケーション学部	6号館 3階
12月5日(水)13:00~16:45	現代法学部	1号館 3階
12月8日(土)13:00~18:00	経済学部	6号館 3階
	経営学部	1号館 3階・4階
	全学共通教育センター	1号館 3階
※複数の教室で同時開催します。 ※事前申し込みは不要です。 最新情報は東京経済大学ホームページ( <a href="http://www.tku.ac.jp/">http://www.tku.ac.jp/</a> )で随時更新します。		
<b>【問い合わせ先】</b> 東京経済大学 学務課 電話:042-328-7757 <b>【会場】</b> 東京経済大学 国分寺キャンパス(国分寺市南町 1-7-34) ※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。		

## Information 5

### シンポジウム「AI 時代を生き抜くキャリアデザイン」開催

学生団体が企画運営。新しい働き方について実践報告

東京経済大学キャリアデザインプログラム(以下、CDP)とCDP生で構成される学生団体「TKU Unlimited」は、Google Womenwillの理念に賛同し、昨年度より活動を展開。2018年10月13日(土)には、CDP with Google Womenwill シンポジウム「AI 時代を生き抜くキャリアデザイン」を、本学国分寺キャンパスの大倉喜八郎 進一層館(フォワードホール)で開催しました。

シンポジウム当日は、Womenwill プロジェクトマネージャー岸田氏の基調講演に続き、学生たちが「新しい働き方」に取り組んだ実践報告を行いました。また、来場者参加型のワークショップも企画され、来場者の中から抽選で選ばれた3人の学生が、キャンパス内の別々の教室に分かれ、オンラインツールを使用して共同作業に取り組みました。





このワークショップは、テクノロジーを活用したチームワークをもっと広げたいという思いを持つ学生たちが自ら企画したもので、新しいツールを使い始めることに気が引けてしまうという人に対し、実際にテクノロジーを体験する機会を提供するものです。学生はもちろん社会人の来場もあり、「とても勉強になりました。自分の会社でも使用して、どんな人でも働きやすい環境を作っていきたいと思う」というコメントも寄せられました。

## Information 6

### 経営学部 小木ゼミが「TABLE FOR TWO プログラム」試食会を実施 ゼミ生考案のメニュー2品を生協で期間限定販売

東京経済大学経営学部の小木紀親ゼミは、大学の生協食堂と共同で、2018年11月26日（月）～12月7日（金）にかけて「TABLE FOR TWO（以下TFT）プログラム」を実施しています。TFTは、先進国の肥満と発展途上国の飢餓問題を同時に解消することを目的とした世界的なプロジェクトで、東京経済大学ではマーケティングを専門に学ぶ小木ゼミが大学生協の協力のもと、2013年度から年2回のペースで実施しています。ゼミ生が開発に携わったメニューを大学の生協食堂で販売し、1食あたり20円をアフリカの子どもたちの給食のために寄付しています。

TFTの実施に先立ち、11月8日（木）に開催した試食会では、ゼミ生たちが考案した「ソースが選べる！チキンステーキ丼」と「とろうまサーモン丼」の2品をゼミ生と大学生協職員が試食し、具材の種類や分量・価格などについて意見を出し合いました。

ゼミ内でTFTグループの代表を務める板橋珠子さん（経済学部3年）は、「何度も試食を重ね、こだわって考案した。販売期間は短いですが、売り上げの一部がアフリカの子どもたちに寄付されるので、ぜひ大学生協に足を運んでほしい」と話しました。

宣伝活動もゼミ生が自ら行っており、ポスターの制作やTwitterでの告知など、様々な方法でTFTの実施を広報しています。小木教授は「このプログラムを通じて少しでも食糧難解決に貢献できたら、と考えている。ゼミ生には常に能動的に行動するよう指導している」と語りました。

「ソースが選べる！チキンステーキ丼」は11月26日（月）～30日（金）、「とろうまサーモン丼」は12月3日（月）～7日（金）に本学生協で販売しています。

**東京経済大学 総合企画部 広報課**

〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34

TEL:042-328-7724 FAX:042-328-7768 Email:pr@s.tku.ac.jp